

# GS2023冬三木

## 三木市における外国人のための防災ワークショップ



### ○目的

三木市における在住外国人とその災害対応支援の現況を把握する一方で、在住外国人からのヒアリングや共同作業などを通じて、課題の要素を確認しワークショップなどを企画・実施することで外国人の防災・減災意識の向上を促す。

### ○事前学習

在住外国人の防災意識の現状・土地勘に乏しく、避難施設までの経路がわからない。  
・避難所のしくみや避難のタイミングがわからない。  
・情報収集どこに必要な情報があるかわからない。

三木GS 紹介動画

## 2023 ~グローバルスタディ活動記録~

11月18日 12月1日

12月8日

### ○日本語教室

三木市国際交流協会主催  
大人(関西弁講座) 子ども(日本語教室)

在住外国人の関西弁講座は同じ言葉でも意味が違う関西弁がおもしろかったなど満足していた。また、日本語教室に通う子どもたちは日本語が上手な子が多く互いの国の文化や習慣を話して楽しく交流した。



### ○ワークショップ

日本語教室に通う在住外国人の子どもたち  
防災カルタ遊び・新聞紙スリッパ作成

カルタは、楽しみながら災害に役立つ知識を簡単に教えられた。新聞紙スリッパの疑問があたり、地震などの災害時に靴がないと足を怪我するから紙があれば簡単につくって足を守るためと説明することで新聞紙スリッパを作る目的を理解してくれた。



12月2日

### ○避難所巡り

関西国際大学主催  
三木市中央公民館一大村駅

自分の住む町のどこに避難所があるのか、どの避難所に避難するのか、危険な場所の確認など実際に歩くことで見えてくるものがたくさんあり、外国の方も避難場所や避難所と避難場所の違いなど知ることができた。



2024 1月14日

### ○防災訓練

自由が丘連合主催  
煙体験・車いす体験・避難所生活体験

地域住民や中学生、消防署などが大規模地震を想定し、大規模な避難訓練をした。救命活動を間近で見たり、車いすや消火器体験など普段体験しないようなことを通して防災意識が高まった。



2月3日

### ○防災ツアー

関西国際大学主催  
兵庫県立防災センター(煙体験・地震体験)

海外の子どもから大人にかけて、様々な年齢層の人とともに活動した。迷路のような場所での煙体験、ここでしかできない地震体験など、日常では経験できない活動だった。



**避難場所** (いったん逃げる場所)  
指定緊急避難場所：自治体で決められた避難場所  
広域避難場所：多くの人から来られる避難場所  
一時避難場所：一時待機用の避難場所



**避難所** (避難生活できる場所)  
指定避難所：自治体で決められた避難所  
福祉避難所：高齢者や障害者など、配慮が必要な方用の避難所

## 全プログラムを通して

### ○私たちの学び

三木市の在住外国人との交流で、防災意識を高めることができ、災害への備えががいかに必要かを実感した。災害時は、「自助・共助・公助」の共助が非常に重要であり、地域コミュニティを通じた活動が必要であると学んだ。

### ○私たちができること、提案

ワークショップや防災センターでの活動などを開催する。また、日本の災害や災害時にとるべき行動、備えの大切さを伝えて防災の意識を高め災害対策をする。自分の住んでいる町の災害の最新情報がすぐわかるひょうご防災ネットなどを活用する。提案としては、防災を身近に感じ意識してもらうために避難訓練などの体験型の活動を取り入れたり個人に合った防災マップ作りを提案。

ひょうご防災ネット  
スマートフォンアプリ版

QRコードを読み取ってダウンロード、または「App Store」「Google Play」で「ひょうご防災」を検索してください。

Android  
ダウンロードはこちら

iOS